

<第4697回>

目的地：明神山・気延山（徳島）

担当者：時本

実施日：2026年4月11日（土）～12日（日）

形式：テント泊山行（ベースキャンプ）

費用：¥14,000.

（内訳）

（JR）大阪駅～兵庫駅（往復） 1,160 円（580×2）

レンタカー代金 5,000 円（約35,000/7）

高速道路通行料金 1,027 円

（1日目：4,160円、2日目：3,030円、計：7,190円、7,190/7≒1,027円）

ガソリン代金 507 円（3,549/7） タクシー運賃 367 円（2,570/7）

テント設営費 1,271 円（3,090/7（区画占有代金）+830（一人当たり利用料金））

テントサイト付設のお風呂 310 円 徳島天然温泉 あらたえの湯 1,000 円

4/11 昼食、4/12 朝食・昼食 2,100 円（700×3） 4/11 夕食 1,200 円

調整 58 円

参加者：7名

行程：

4/11 天気：晴

（JR）大阪駅（7:45）＝[新快速]（⇒8:10）神戸駅[乗換]（8:14）＝[普通]⇒（8:17）兵庫駅

トヨタレンタカー兵庫駅南口店（8:45 頃）＝[レンタカー]⇒（12:25）伊座利峠 [233m]（12:34）→（13:22）明神山[441.7m] [峯神社・奥宮等往復]（13:54）→（14:46）伊座利峠（14:57）＝[スーパーマーケット経由]⇒（17:45）四国三郎の郷キャンプ場 [テント泊]

4/12 天気：晴

[5:00 起床]キャンプ場（7:00）⇒（8:18）石井町最終処分場付近（曲突越 登山口手前） [約12m]（8:26）→（9:00）曲突越（クドウゴエ）[147m]（9:06）→（9:58）童学寺越[151m]→（10:33）前山公園からの登りとの交点（10:46）→（11:41）気延山 [昼食・212.0m]（12:06）→（12:48）阿波史跡公園駐車場/管理棟（管理事務所）[34m]（13:35）＝[タクシー]⇒（13:48）石井町最終処分場付近（13:55）＝[レンタカー]⇒（14:10）阿波史跡公園駐車場（14:25）⇒（14:50）徳島天然温泉 あらたえの湯（15:45）＝[土産物店経由]⇒（18:15）トヨタレンタカー兵庫駅南口店[解散]（有志で懇親会）

兵庫駅＝[JR]⇒大阪駅

感想：

[4月11日]

JR 兵庫駅近くでレンタカーに乗車し、明石海峡大橋に続いて大鳴門橋を渡りました。天気は快晴。山日和であるとともに、ドライブ日和でもありました。鳴門橋では、Sさんが渦潮を見たいと言われていて、強くはありませんでしたが渦をしっかりと見ることができました。

徳島市内を通り過ぎ、登山口に行こうとしましたが、カーナビゲーションに登山口の地名や付近の施設が入力できず（目的地として設定できず）、地元の人に聞いた道を進むと、意図していない伊座利峠に到着しました。ここは、当初考えていたスタート地点から約200m標高

が高いところにあります。既に相当な時間が経過していて、当初考えていた登山口を探して登ることは困難と考えられたため、伊座利峠～明神山を往復することになりました。

標高が高い地点からのスタートだけあって、傾斜が緩く登りやすい道です。おまけに殆どが舗装道でした。ただ、さすがに明神山への最後の登りは登山道らしくなっていました。

明神山頂上に到着すると集合写真を撮影しました。ここからは眺望がありません。眺望が開けているところがあるはず、との思いで、峯神社・奥宮の方に向かいました。峯神社・奥宮は、先ほど集合写真を撮影した「明神山」の標識がある一等三角点のある地点からすぐのところであり、奥宮に到着するとそこだけ一気に眺望が開けていました。奥宮から北方には橋湾火力発電所が俯瞰でき、その奥に阿南市街が遠望できました。きれいな景色だったので、それらを背景に写真を撮影しました。

奥宮から南方面を望むと太平洋が広がっています。左寄りの海岸線付近の赤い屋根を見て、Wさんが、「一昨年に行った礼文島の桃岩荘ユースホテルみたい。」と言われていました。私はそれまでなんとなく利尻山に登った時の、山が海岸線にせり出しているかのような景色に似ていると思っていたので、とっさに言われて切り替えにしばらくかかりましたが、言われてみればそのとおりの思いでした。

奥宮で景色を楽しんだ後、下山を開始しました。当日は、明神山～伊座利峠間の標高 300m～350m のところに桜が少なくとも 2 本咲いていました。往路で場所を覚えていたので、まず 1 本目のところで撮影しました。花に関連した話として、Mプロの説明では、明神山～伊座利峠間の道がある徳島県美波町や隣接する阿南市には椿の自生地が多く存在しているとのことでした。この地の椿は暖かいところに生育する種類で、暖流である黒潮に育まれているとのこと。そういえば、同じく黒潮に洗われる対岸の和歌山県にも「椿」という地名があります。(白浜町椿(温泉)) こちらも椿がよく生育しているのでしょうか。

更に下ると、次の桜の花が咲いている場所に着きました。往路では気が付かなかったのですが、復路では見る位置が逆となり、海が背景にありました。桜と海を背景に写真を撮影しようとすると、被写体の 3 人が何か怪しい踊りをし始めましたが、構わずシャッターを押ししました。

伊座利峠到着後、高速道路を含めそれなりの距離を移動し当日のキャンプ場に到着しました。キャンプ場はゆったりとしていて、テントを設営している人にマナーの良い人が揃っていたためか静かで、過ごしやすかったです。また、トイレが衛生的なうえ、利用料金が 310 円と安価なお風呂(ボディソープ&リンスインシャンプー備え付け)が併設されていて、皆さんからの評価は極めて高かったです。遠い距離を移動した値打ちがありました。

夕食は、Mさんが事前に調べておられたキャンプ場近くのスーパーマーケット(「マルナカ・美馬店」)で購入し、夕食後、懇親会を開催しました。近くの香川県から来ている学生グループに写真撮影を依頼すると、2 人やってきて、1 人は照明係(ヘッドランプを当てる係)をしてくれました。その親切さと、ノリの良さに感動しました。

翌日は登山があるうえ、7 時に出発する必要があったため、21:30 で懇親会をお開きとし、それぞれのテントに入って就寝しました。テントで横になってから、徳島線を走る気動車の音が何回か聞こえてきました。徳島線の気動車の走る音は、翌日の、曲突越(クドウゴエ)～気延山間の尾根伝いでもよく聞こえました。

[4月12日]

翌朝は午前 5 時に起床して朝食を急いで摂り、テントを撤収してキャンプ場を午前 7 時に出発し、曲突越への登山口である石井町最終処分場の前までレンタカーで移動しました。

困ったことに、無名の施設はカーナビゲーションでは目的地として設定できず、近くの少し名の通った建物等を目的地としておいて、付近まで近づくと無名の施設でも目的地として設定できるグーグルマップのルート案内によって目的地に到達する方が良かったことがわかりました。更に言えば、最初からグーグルマップによりルート案内をしてもらう方法も考えられます。昨日はグーグルマップをうまく使いこなせず意図した登山口に到達できませんでした。2日目はピッタリ的位置に駐車することができました。

登山口～曲突越間は、YAMAP では赤い線（一般的な登山道）としては表示されていませんが、無理なく歩ける道でした。一般車は通行止めとなっていたものの、許可を得た車両が登山口から出てくるのを見かけました。ただ、表面は石畳で覆われていたものの道幅は狭く、特に登山口付近は雑草が茂っていて、通行止めとなっていなくても一般車が通れる雰囲気ではありませんでした。

曲突越で90度左折して気延山に向かいます。曲突越～気延山間は、尾根伝いに小規模なアップダウンを繰り返しながら歩きます。このコースは、徳島県民縦走ハイク「やまなみウォークラリー」のコースの一部にもなっていて、歩きやすく整備されたコースです。吉野川沿いの平野部と平行に歩くのですが、眺望の開けたところは殆どありません。しかし、たまに平野部を俯瞰し対面の山を望める場所もありました。

10時半過ぎ、本日の行程の半分を少し過ぎたところにある、前山公園からの登りとの交点に到着しました。ここで休憩することとし、ベンチで休憩中の徳島県の2人連れのハイカーと会話が弾みました。皆さんの感想は、徳島の人は人懐こく親切で喋りやすいとのことでした。当地に到着するまでは、下山後温泉に入ってレンタカーの返却時刻までに帰れるか、気をもんでいましたが、多分間に合いそうと思いきやホッとしました。M崎さんは、それ以前からコースを分析し、前半は道が曲がっていて地図での見た目より距離があり標高差もあるので時間がかかるが、後半は早く進むと予測されていました。その読み通りとなりました。

前山公園からの登りとの交点を出発後、引き続き尾根伝いの道を進み、本日の目的の気延山頂上にやってきました。時刻は11:41。YAMAPのコースタイムが長くってある影響もあって、思ったより早く到着しました。お昼前でしたが、朝が早かったため先に昼食をいただき、食後に集合写真を撮影しました。気延山頂上は、眺望は相変わらずありませんが、目的地に余裕を持って到達したことに安心しました。

気延山頂上からは、下山口の阿波史跡公園まで、下りが続きます。阿波史跡公園駐車場到着後、タクシーを呼ぼうとしましたが、2社は近くにタクシーがないと言われ、次の2社には、出払っていて相当長く待ってもらわないと配車できないと言われました。4社に事実上断られ、困ったと思いながらかけた5社目の地元の国府町のタクシー会社が約30分後に来てくれ、窮地を脱しました。この時、Kさんも1社に分担して電話をかけていただき、ありがたかったです。

タクシーには、運転担当(副担当を含む)の4名が乗り込もうと考えて、4人でタクシー会社の方がわかりやすいと指定した待ち合わせ場所の阿波史跡公園管理棟横で待っていましたが、到着したタクシーの乗務員に小型なので3人で乗る方が良いと言われたため、Mさんが遠慮され、他の3人で登山口に向かいました。レンタカーを回収後皆さんの待つ阿波史跡公園駐車場に戻り、その後入浴をして土産物店を經由して帰路につきました。帰路では渋滞がありましたが、Aさんの華麗なハンドルさばきで影響を少なくしていただき、返却時刻に余裕をもって帰着しました。タクシーをなかなか呼べなかったこと、渋滞があること等の不測の時間がかかる可能性を考えると、レンタカー山行はマイカー山行に比べ、レンタカーの返却時刻に制約されるため、下山時刻を始めとして相当余裕のある行程が必要と思いました。帰路

は、少し退屈感がありましたが、Aさんの発案で「あ」で始まる歌を順に歌う、歌合戦に盛り上がりました。この歌合戦は好評で、後日、Wさんから、「車内での歌合戦、またしましうね。」とのコメントが寄せられました。

車両返却後、レンタカー営業所の駐車場で精算をすることになりました。そこで、レンタカー代金は例会案内どおり私が負担すると述べたのですが、「それでは気軽に楽しめない。」「次に参加しにくくなる。」というご意見が相次ぎ、皆さんのご意見を勘案して気を利かせた人がレンタカー代金を営業所に聞きに行き、レンタカー代金は平等に負担となりました。

レンタカー代金については、私はマイカーを持っていないことでもあり、マイカー山行と同等の山行をしようとするならば、マイカー提供者（例会担当者）が負担しても良いと思っています。（例会担当者の考え方により、例会担当者が負担しても、全員で平等に負担（割り勘）しても構わないと思っています。）マイカー提供者には、車検料金・保険代金・タイヤ等の摩耗費・オイル代金・車両価格・場合によっては駐車料金等の維持費がかかっています。それに加え、帰宅後車両を清掃しなければならないという手間もかかります。また、車両が汚れるという点に着眼すると、もし私が新車を持っていたとして、マイカー山行をする場合、レンタカーを使用すると思います。汚れはやはり（特に新車の間は）気になります。以上により、マイカー提供者は相当の負担をしていると思います。そういったことを考えますと、レンタカーをもってマイカーと同等の例会を設定する場合、例会担当者が負担する料金として、レンタカー代金はマイカーを使用する代金に比べて安いと思っています。また、マイカーを持っていない人にマイカー山行の道を開くという意味でも、例会担当者がレンタカー代金を負担する例会があっても良いと考えます。

とはいうものの、今回の皆さんのご意見をお聞きし、レンタカー代金を例会担当者が負担してしまっただけでは、例会に参加される方が気軽に楽しめない可能性があることに気が付きました。例会に参加されている方が楽しめないようでは、何をしているかわかりません。この点反省します。もう少し良い解決策が見つければ良いなと思っています。

例会終了後、懇親会をすることになりましたが、当日原付バイクで最寄りの駅まで来られていたKさんが参加できないとなり、他の6名で兵庫駅前にて懇親会を開催しました。

明神山・気延山例会では、初日の明神山頂横の峯神社奥社から見た陽光に輝く海や街の景色は素晴らしかったですし、テント場での夕食とその後の懇親会も楽しかったです。翌日の、気延山も高低差が少なく楽に歩ける区間が多かっただけに多くの会話が楽しめました。

都市部や高速道路を含み主力で運転担当をしていただいたAさん、高速道路を含むそれなりの距離を運転していただいたMさん、ありがとうございました。サブリーダーのSさんには、皆さんにいろいろとアドバイスされたり、場の雰囲気盛り上げていただいたり、会計担当を務めていただいたAさんには、車中を含む短時間のうちに正確に精算業務をしていただいたり、他の皆さんもいろいろな役割を果たしていただきました。ありがとうございました。

明神山・気延山例会はお陰様でとても楽しい時間を過ごすことができました。天候に恵まれたことももちろんですが、良いメンバーに恵まれたことが最大の要因だったと思います。参加していただきました皆様、ありがとうございました。1泊2日とコンパクトな例会でしたが、明神山・気延山例会を、皆さんの楽しい思い出の一つに加えていただければ幸いです。